

京まち工房 61

京都市景観・まちづくりセンター ニュースレター

特集

住んでいてよかった、これからも住み続けたいまち 六原学区のまちづくり

京町家まちづくりファンド 寄附付き商品

「Kyoto Machiya Restaurant Guide」のご紹介



西陣の町家在住アメリカ人で、観光ガイドや大学の講師をされているジュディス・クランシーさんが英語版京町家レストランガイドブックを出版され、ジュディスさんと出版元 Stone Bridge Press社のご厚意により、80冊のご寄附を頂きました。この売上は全額、京町家まちづくりファンドに寄附されます。現在、当センター受付で、定価1,500円で好評販売中です！80冊限定！お店の紹介とともに建物の特徴が掲載されているので、グルメと京町家の勉強が同時に楽しめる一冊です。また、巻頭に京町家の特徴、京都の成り立ちなどが写真やイラストを交えて説明されているので、外国人の友達に京都案内をする時にも大活躍です。

地域まちづくりのこと、
気軽にご相談ください。



- 1 まちづくり活動の相談に応じています。
- 2 活動に役立つセミナーを開催しています。
- 3 地域へ出向き、サポートします。必要に応じて、まちづくり専門家の派遣を行っています。(専門家派遣)
- 4 活動費の一部を助成します。(まちづくり活動助成)



その他、施設内の展示コーナー「京のまちかど」や図書コーナーはどなたでもご利用いただけます。また、まちづくり活動にご利用いただけるミーティングスペース、まちづくり工房(印刷機や紙折り機)もありますので、ぜひご活用ください。

賛助会員 募集

年会費

個人1口 5,000円
団体1口 50,000円
(入会は随時受け付けています)

センターの活動の趣旨に賛同していただける方を賛助会員として募集し、会費は情報誌の発行やまちづくり活動の支援、京町家の保全・再生に向けた取組などの事業に活用させていただきます。

- ニュースレター「京まち工房」送付 (季刊・年4回)
- セミナー等の御優待 参加人数を限定させていただいているセミナーの優先受付や参加費の割り引きをさせていただきます。

京都市景観・まちづくりセンター

〒600-8127
京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1
(河原町五条下る東側) ひと・まち交流館 京都 地下1階

TEL : 075-354-8701 FAX : 075-354-8704
<http://machi.hitomachi-kyoto.jp/>

開館時間

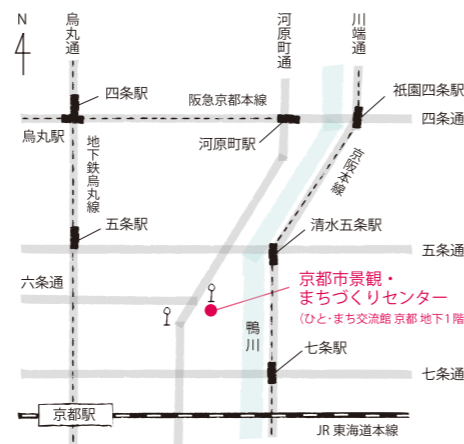
平日・土 9:00 ~ 21:30
日・祝 9:00 ~ 17:00

休館日

毎月第3火曜日(国民の祝日にあたるときは翌日)
年末年始(12月29日~1月4日)

交通系統

バス 市バス4・17・205号系統「河原町正面」下車
電車 京阪電車「清水五条」下車 徒歩8分
地下鉄烏丸線「五条」下車 徒歩10分



センターへお越しの際は公共交通機関をご利用ください。

マチ右衛門 Twitter



京都市景観・まちづくりセンターは環境負荷低減に努めています。

景観・まちづくり大学

まちづくり報告

地域の「今」から考える、まちづくりの課題とこれから

京町家事例

町家が大好き、だから残したい 商店街の中の京町家

京町家まちづくりファンド

寄附拡大の取組について

まちづくりイベント

町家再生大茶会

コラム

私と京都 スタッフのつぶやき

<http://machi.hitomachi-kyoto.jp/>

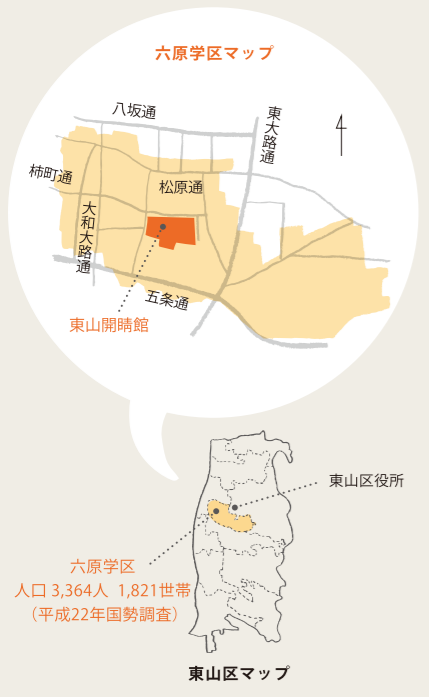
特集

六原学区のまちづくり

住んでいてよかった、これからも住み続けたいまち



安心・安全のまちづくり



六原学区は東の清水寺と西の鴨川の間位置しています。歴史も深く、清水焼をはじめ多くの職人さんが活躍する、多様な文化の共存する地域です。

明治2年に開校した六原小学校は平成23年3月に閉校し、同年4月から新たに小中一貫校の東山開晴館^{かいせいかん}※1が開校しました。まちを歩くと、細い通りや路地が多いことに気が付きます。昔ながらのお店や職人さんの仕事場も多いので、ほっとする雰囲気があります。自治連合会は平成12年に設立された比較的新しい組織ですが、学区民の約9割が加入しており、子どもからお年寄りまで、誰もがお互いを支えあえるコミュニティのあり方をめざしています。

※1 東山開晴館
白川・新道・六原・清水・東山の5つの小学校と洛東・弥栄の2つの中学校とが統合し、平成23年4月に開校した施設一体型の小中一貫校です。



安心・安全マップ

平成16年度から「いきいきネットワーク」※2をつくり、各種団体と消防分団が中心になり「安心・安全マップ」の発行や子ども見守り活動、火災警報器の設置促進、避難経路や避難場所の徹底等に取り組みました。平成23年度からは自主防災会が中心となり、マップの更新や避難所運営マニュアルづくり、細街路における避難路整備をはじめとした防災まちづくりの取組などを行政と連携しながら進めています。 ※3

※2 いきいきネットワーク
地域の住民同士がお互いに助け合い、支えあう仕組みづくり。東山区では、学区単位に構築することを支援しています。

※3 平成23年度～歴史都市京都における密集市街地等に関する対策の推進事業です。(京都市都市計画局)



六原まちづくり委員会

平成18年度の調査(京まち工房39号参照)では、空き家の数は144件でしたが、22年度の調査で約200件ある事が分かりました ※4。現在の空き家はもちろん、空き家になる可能性があるものについても、状況に応じた対策を取れるようになります。こうした空き家対策を中心に、包括的なまちづくりを進めていくため、平成23年10月に「六原まちづくり委員会」を自治連合会の中に立ち上げました。

※4 平成22年度～京都市地域連携型空き家流通促進事業モデル地域になっています。(京都市都市計画局)



六原住まいの応援談

コミュニティ力を活かして、町内会ごとに空き家の状況を把握するようにしたり、空き家をお持ちの方の状況をお聞きしたり、専門家や行政と連携して相談に対応できる体制づくりを進めたりしています。この他、住まいや相続に関するセミナーを主催したり、まちづくり委員会の取組をお知らせするニュースを各戸に配布したりしています。こうした地道な取組が功を奏して、まちづくり委員会に少しずつ相談が寄せられるようになってきました。



一人一人がふれあい、支えあい、助け合うコミュニティ



六原フェスタ

区内の65歳以上の高齢化率は3割といわれ、一人住まいの方も少なくありません。高齢の方ほどコミュニケーションが大切で、特に一人住まいの場合は細やかな支援が必要です。老人福祉委員や民生児童委員が日常的に支えながら、自立促進・保健・医療・福祉の活動を行っています。子どもは減少傾向ですが、まち中で誰もが声をかけあう雰囲気があり、地域で見守り育てる環境が自然と身近にあります。子ども達のための夏祭りや自治連合会主催の成人式は、大人と子ども達が一緒に企画してふれあ

う大切な年間行事となっています。「若い世代は地域行事に参加してくれない」という悩みは、まちづくりの中で良く聞きますが、六原では、「まずは『やっておもしろかった』経験や習慣づくり」を大切にしています。秋に開催される「六原フェスタ」は、老若男女誰もが参加できる自治連合会主催のビッグイベントで、現在は30～40代有志による「六原倶楽部」が企画運営の中心を担っています。



六原まちづくりのかたち

六原には「住んでいてよかった、これからも住み続けたいまち」を体現するコミュニティがあり、大学や行政、専門家等と緩やかにつながりながら、地域の未来にむけて地道な取組を続けています。また、自治連合会の事務局が、地域の調整役を担うことで、学区内の取組の継続性を実現させています。「『優』のまちづくりよりも、いつも『可』のまちづくりを目指したい。長くしんどくなく続けることが大切。」という地域の方の言葉のとおり、日々の積み重ねで地域の未来が彩り豊かに綴られています。



「六原学区」で検索!



六原学区自治連合会のホームページ



景観・まちづくり大学は京都のまちづくりに関心のある人々が集い、語らい、交流する場です。共に学び、共に育つことを目的としています。

京町家再生セミナー

京町家再生の最初の一步としての基本講座です。

第2回 8/26(日)開催

京町家再生の20年

講師 宗田好史氏(京都府立大学教授)



京町家の保全・再生活動をされている京町家再生研究会が発足してから20年。京都のまちにとって、また住民の方々にとって町家がどのような存在に変化してきたのか、またこれからどうあるべきなのかというお話でした。観光や不動産分野のデータから見る町家の変化の他、様々な町家活用事例も紹介して頂き、京町家が現代社会の中で必要とされていることを学ぶことができました。

京町家の保全・再生活動をされている京町家再生研究会が発足してから20年。京都のまちにとって、また住民の方々にとって町家がどのような存在に変化してきたのか、またこれからどうあるべきなのかというお話でした。観光や不動産分野のデータから見る町家の変化の他、様々な町家活用事例も紹介して頂き、京町家が現代社会の中で必要とされていることを学ぶことができました。

京のまちづくり史セミナー

今年度は「なりわいと都市空間形成」をテーマに、個性と魅力にあふれた京都の町並みが地域の経済のあり方と密接に関わっていることを学びます。

第4回 10/6(土)開催

西本願寺門前町のまちづくり

講師 井口富夫氏(龍谷大学准教授)
宇佐美直秀氏(植柳まちづくりプロジェクトチーム)

会場 龍谷ミュージアム



門前町としての特徴的なまちの構成をしている西本願寺門前町をテーマに開催しました。井口先生より、秀吉の寄進からはじまる西本願寺門前町の形成の話と産業の特徴、現在のまちづく

り活動についての話題提供がありました。その後、門前町で表具屋を営む宇佐美さんのガイドにより、門前町の特徴的な店舗やシンボルとなっている伝道院を案内していただきました。

その他開催セミナー

- | | |
|----------|---|
| 9/9(日) | 第3回
四季を彩る京町家暮らしの工夫
講師：小泉光太郎氏(NPO法人四条京町家理事長) |
| 9/30(日) | 第4回
銘木屋さんから見る町家の部材、意匠の見方
講師：中川典子氏(㈱千本銘木商会常務取締役) |
| 10/24(水) | 第5回
快適な町家暮らしのための改修ポイント
協力：(社)京都府建築士会 |
| 11/13(火) | 第6回
町家を次世代に残すための相続対策
講師：石田光曠氏・磯林恵介氏(京町家承継促進研究会) |

文 = 中川祥二

西本願寺門前町をテーマに
お話ししました



その他開催セミナー

- | | |
|----------|---|
| 9/3(月) | 第3回
伝統地場産業と同業者町の形成
講師：滋野浩毅氏(成美大学准教授) |
| 10/21(日) | 第5回
機業の近代化による西陣の町並みの形成
講師：水島あかね氏(明石工業高等専門学校助教)
文字英夫氏 |
| 11/27(火) | 第6回
文化的景観とまちづくり
講師：高橋康夫氏(花園大学教授、京都大学名誉教授) |

文 = 杉崎和久

まちづくり実践塾

今年度のまちづくり実践塾は「京都まちなかの賑わいづくり」をテーマに全5回の開催を予定しています。第1回は「美しいまちなかの賑わいとは？」という問題提起に、リム先生をお招きして、後半は参加者の皆さんと活発な意見交換がなされました。

第1回 9/26(水)開催 講師 リム・ボン氏(立命館大学教授)
美しい都心の賑わいを目指して



今日の京都の都心部を歩いていて、私は美しいと思えません。最重要課題は「都心の魅力を回復」することです。「美しい町並み」のある都心の賑わいは諦めて、都心での「賑わいの美しい」まちづくりをしていく

のか、「見極め」が必要です。

京都は1200年の歴史を持っており、幾度の戦乱や明治維新による衰退に、絶えず緊張感を強いられてきた都市と言えます。京都の老舗にみられる町衆は常に歴史と向き合いながら、教訓を得て、継承すべき伝統と切り捨てるべき伝統を見極めてきました。現在

文 = 大久保悠子

の京都は歴史にしっかり向き合っているのでしょうか。「歴史的都心・京都」は、京都市民のみならず、次元をはるかに超えて、全人類に求められている「環境」や「平和」の問題解決への知恵を結集し、議論するのに相応しい舞台です。世界中で「京都のためなら」という人や企業は沢山いるし、こうした現代の町衆の力をいかに結集させるのか、という議論を真剣にすべきです。「歴史的都心・京都」の更なる発信には、「美しい都市」への探求に明確な意志を持ち、町家の立派な町並みの回復に相応の努力を積み重ねていくことが不可欠だと考えます。

京町家 住まい方ラボ

京町家について、見て、聞いて、体験することで「住まいとしての京町家」への理解を深める、実践的な講座です。

第2回 11/10(土)開催

プロに聞く、庭の手入れのコツ

協力 NPO法人古材文化の会 会場 京都市リサーチパーク 町家スタジオ
講師 (株)小林造園
小林正典氏・山崎昭夫氏・庄村浩一氏

京町家の大広間にて、日頃の庭の手入れについて、正しい剪定の仕方や庭木の種類によって注意するポイントをご説明いただきました。京都の庭師がもつ独特の手技、その技術を継承するための努力や、プロにお願いする方がよいことと、自分でできることの違いなど、受講された皆さんも熱心に聞かれていました。後半は庭に出て、葉が重ならないように丁寧に間引くなど、庭師さんの実演を拝見しながら、具体的なアドバイスを受けました。庭木にも愛情を持って話しかけながら枝を切るという心得も教えていただきました。

文 = 西井明里



地域の「今」から考える、まちづくりの課題とこれから



京都市景観・まちづくりセンターでは、地域の皆さんが主体的に進めるまちづくり活動について、ひとりひとりが地域にかかわりを持ち、まちを育んでいながら、生活全体をよくするまちづくりが実現できるよう、様々な支援を行っています。（京まち工房40号、41号参照）今年度は、地域まちづくりを取り巻く環境と現状を把握するとともに、これからの支援内容について検討を進めています。

「景観まちづくり」「コミュニティ・マネジメント」「地域経済活性化」の3つをテーマに、地域の方々とこれからの課題について意見交換会を行いました。一部内容をご紹介します。

景観まちづくり

地域によっては景観に関わる文化が失われてきており、その状態に慣れてしまっています。その価値を、もう一度学びなおすことが必要ではないでしょうか？



地域らしい景観をつくるためには、何を残すのかの価値共有や共通ルールを決めていくことも必要です。「景観は行政のものではなく、皆（住民・行政・事業者等）でつくるもの」という意識に変える取組も大切。



景観を守るために、地区計画や地域景観づくり協議会制度を利用しています。組織づくりをしっかりと、住民の参画を得ながら課題を共有し、事例を積み重ねていくことが大切だと思います。



コミュニティ・マネジメント

地域が生き生きと活発であるために、夢をもって、子供から高齢者まで誰でも参加できるまちづくりを心がけています。より多くの人（特に若い世代）に、地域に関心をもってほしいです。



地域運営は、ボランティアだけではしんどい部分もあります。運営費を稼いで活動費に充てるような取組も必要では？



地域まちづくりを担う次世代の育成が課題。既存の組織や行事にとらわれず、有志の若い人たちが主体的に楽しみながらイベントを企画運営しています。



地域経済活性化

伝統産業の本業（生業）が成り立たなくて廃業しているところも多い。生業をどう地域とつなぐか、ネットワークづくりが課題だと思います。



職人さんの高齢化が進んでいるけれど、お年寄りの経験を活かして高齢者も稼げるような取組ができれば、職人さんも地域も元気になっていくと思います。



地域の生業について、コミュニティの中でもっと話題にしてみませんか？子どもたちが早くから本物の職人さんとふれあい、ものづくりを体験できる場があれば、将来の担い手が育つかもれません。



いずれのテーマの中でも、人口減少や高齢化、コミュニティの担い手不足、空き家などは、共通するキーワードでした。地域の「今」と今後の課題を改めてしっかりと認識させていただき、これからの地域まちづくり支援へつなげていきたいと考えています。

地域まちづくりのこと、お気軽にご相談ください！

詳しくは裏表紙をご覧ください。

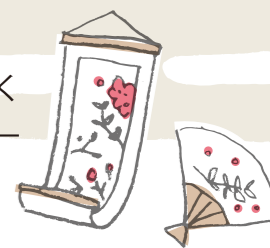
京町家の保全・再生事例

町家大好き、だから残したい商店街の中の京町家



「小町家」の外観

古川町商店街※（東山区）には、お店をしている京町家が見つかります。その中の一軒が「小町家」さんです。オーナーの田中さんが一棟貸しのゲストハウスを運営されています。



部屋にはこだわりの和物が所々に並びます

趣味を活かし、日本の誇れる伝統文化を残したい



日本の伝統文化、伝統工芸品が好きで調度品を集めたり、文化について学んだりしてきたそうです。それらを残し伝えて行くために、所蔵する調度品を色々な人に見てもらおう場所として京町家を一棟で貸すという形が趣味も活かせ、最適でした。京町家のことを独学で調べ、「京町家まちづくり調査」にも参加して、大工の方から色々学んだそうです。



古い家具と窓から垣間見える商店街

京町家の良さを残すためのゲストハウス

元は漬物屋さん兼住居で、プリント合板で覆われ、隠されていた京町家の風情を、合板を取り外すなどし、できる限り元の町家の状態に戻すように改修したそうです。土間、土壁、格子戸など、伝統的な京町家の意匠を残したゲストハウスで、昔ながらの日本の文化や暮らしに触れ、癒されてほしいと考えたそうです。調度品は趣味で集めたものの他、骨董市などに赴き揃えておられます。

お花を活けるのも田中さん自ら行います



※ 古川町商店街

商店街内に残る「小町家」さんをはじめとした古い建物は京都市の取組である、市民が選ぶ「京都を彩る建物や庭園」に選ばれています。

古川町商店街が学生とコラボレーションし、夜の商店街を利用した、シャッターに映像を照射する取組は「京まち工房57号」参照



コミュニケーションが息づく商店街

商店街の中の物件に出会ったのは偶然の事だったそうです。しかし、商店街だと商売をするもの同士で近所との関係性が作りやすく、スーパーには無いコミュニケーションがあります。また、商店街であれば、その商品を買って町家で調理したり食事をしたりすることもできるので利便性も高いと思い、この場所を選んだそうです。

商店街に面した町家



商店街と連携して活動する

「小町家」さんでは、年に数回、1階のスペースを利用してイベントを行っています。イベントの中には、お茶会や落語の会など商店街と連携して行っているものもあります。今後は、商店街を紹介しながらのまちあるきの企画に参加しようと思っているそうです。「京町家が一軒でも多く残りますように。これからも京都が京都らしくいられますように」そんな思いを持ち行動を起こす、田中さんの方が今後増えていくことを願います。



商店街内の抹茶処とコラボレーションしたお茶会イベント



京町家まちづくりファンド

寄附拡大の取組について

当センターは、平成24年4月より公益財団法人として新たな一步を踏み出しました。これを機に、京町家まちづくりファンドも新たな事業展開を目指し、市民・企業・市民団体の皆様のご協力のもと、寄附拡大、寄附付き商品・イベントの拡充を図っていく予定です。

? 寄附付き商品、寄附付きイベントとは

京町家まちづくりファンド 寄附の流れ



寄附付き商品例

寄附付き商品は社会貢献企業としてのPR力を高め、京都ブランドの向上にも役立っています。

このシールが目印!

井筒八橋本舗からのご寄附は平成21年度から現在までで累計200万円に達しました。

井筒八ツ橋
(株)井筒八ツ橋本舗
各店舗で販売

このシールが目印!

京町家まちづくりバナナ
(京都青果合同(株)/(株)ドール)
生鮮館なかむら
八百一(高島屋、伊勢丹)
平和堂(京都府下)で販売

寄附付きイベント例

The Deepest Kyoto Tour

地元ガイドさんと通訳さんと共に東山の六原界限等をめぐるまちあるきです。

京の四季を愉しむ会

京町家での暮らし体験を通じて、四季を通じた京町家の暮らしと文化を体感するプログラムです。

(内容は京まち工房60号参照)



地域での京町家まちづくりファンドPR活動



9/8 (土)
西陣の朝市マルシェ

かつて西陣にはたくさんの「市」が立ち、地域の活気を反映していましたが、その市を現在に復活させ、地域の方々の集いの場を目指したのがこの朝市です。寄附付き商品のバナナをご提供いただいている京都青果合同さんがブースを出展されるのにあわせて、ファンド事業のPRを行いました。買い物途中の地域の方が熱心にパネル展示をご覧になったり、寄附付き商品のバナナを購入していただいたり、とファンドが地域に支えられているのを実感した一日でした。



9/22 (祝・土)
京都・西陣千両ヶ辻伝統文化祭

江戸時代より西陣織の中心地として、一日に千両の商いをしたことから「千両ヶ辻」と呼ばれたこの地域で伝統文化祭が始まって丁度10年。今年も約3,500名の来場者があり、大いに賑わいました。当日は、美しいお庭を公開されている京町家の一角をお借りして来場者にファンド事業のPRを行い、企業の皆様からご提供いただいたバナナと八ツ橋のサンプルをお配りしながら、寄附付き商品の仕組みをお伝えしました。お配りした数は約1,500個。多くの方々と共に、京町家を残していくことの大切さを改めて考えた、貴重な一日でした。



改修助成事業のご報告

京町家まちづくりファンドによる支援は平成23年度までで、64件となりました。平成24年度改修助成事業では、6件の物件を選定しました。

平成23年度に選定した改修助成物件

平成24年度に竣工した2物件をご紹介します。



横田邸 (左京区)

多世代にわたる京町家の継承を…大切に守って来た京町家を、更に息子夫婦達にも住み継いでいってもらうために再生されました。



ウサギノネドコ (中京区)

「オープンな京町家」を目指してたくさんの人に京町家の良さを知って頂くために、宿泊施設と雑貨店兼ワークショップスペースとして活用されます。

企業の皆様からのご寄附

寄附金 (株)フラットエージェンシー様より、大口のご寄附を頂きました。

商品のご提供 京町家レストランガイドブックをご寄附頂きました。(裏表紙で詳しくご紹介)

これからも、皆様の温かい気持ちがかもったご寄附を、京町家の保全・再生の為に大切に活用させていただきます。

ワールド・モニュメント財団支援 京町家再生プロジェクト

町家再生大茶会

京町家に息づく暮らしの美に触れていただき、京町家を基点とした地域まちづくりと市民活動の進展を祈念する町家再生大茶会を開催しました。ワールド・モニュメント財団(WMF)から支援を受けた釜座町町家では、町内有志のみなさまが発足した「釜座お茶倶楽部」による初めてのお茶会が行われ、風雷房では「田中一光と木田安彦展」の展示が公開され、修復後の活動もご紹介する機会となりました。また、フォーラムでは京町家再生研究会(以下、再生研)のみなさまによる京町家の構造特性と性能評価への提言や、これまでの再生事例を通じたデザイン特性の紹介が行われました。

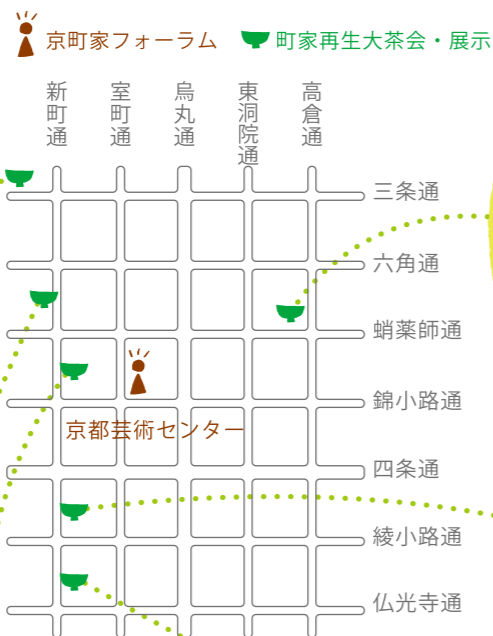


京町家フォーラム・町家再生大茶会

平成24年11月17日(土)、18日(日)開催
(京町家フォーラムは17日に開催)

- 主催** 特定非営利活動法人京町家再生研究会、公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター
- 協力** ワールド・モニュメント財団(本部ニューヨーク)

町家再生大茶会の開催場所



木田安彦美術館 風雷房



展覧会
田中一光と木田安彦展
風雷房については京まち工房60号参照

矢尾定 お点心



船鉾町会所



伝統工芸作品展示(京絞り寺田等)、京町家作事組による修復に関する解説、WMF、京町家まちづくりファンダ関連展示

小島家



京町家の暮らしや再生研の活動に関する説明、お茶会(煎茶)、京都漆器青年会の作品展示

釜座町町家



釜座茶会(お薄)
町家再生関連の展示

無名舎(吉田家)



京町家の暮らしや所蔵の骨董や美術に関する解説、お茶会(お薄)

京町家フォーラム

美しい町家再生伝統的技術と革新的デザイン

- 出演** 宗田好史氏(再生研副理事長)、末川協氏(再生研監事)、木下龍一氏(再生研理事)
- 司会** 京極迪宏氏(再生研理事)

この取組を共に主催し、京町家の保全・再生を牽引されてきた特定非営利法人京町家再生研究会は設立20周年を迎えられました。心よりお祝い申し上げます。

私と京都

(公財)京都市景観・まちづくりセンター評議員
株式会社 鼓月
取締役会長 中西たえ子



美しい景観は 手入れをして守りましょう

私の生家はおくどさんなどのある典型的な京町家でした。

多勢のお客様がある時は襖をはずし大広間として使います。大黒柱などはよく磨きこんで黒光りし、鏡のように顔が映ります。このように、手入れをするほど輝きますが、手を抜くとその良さが失われます。

美しい景観も、保とうとする強い意識や行動がなければ、徐々に荒れてゆくと思います。

先日、祇園の女将さんや舞妓さんたちが総出で、花見小路通りのお掃除をされました。観光客の方々が吐きすてたガムの多さに驚いたものです。へばりついたガムは取りにくいものですが、一生懸命に掃除道具を使う彼女たちの横顔は、夜にみせる顔と違った美しさを感じさせました。NHKのニュースにも取り上げられていましたが、これらがキッカケになり、人々のマナーが高まれば嬉しいことです。

これは美しい京都の景観についても言えることではないでしょうか。手入れをしてこそ美しさが保たれます。

元日を御屠蘇や大福茶で祝い、おせちを頂き、お餅やお題菓そして干支を形どる祝菓を賞味するなど、ハレとケというようにメリハリをつけた京慣習やしきたりも大切にしたいものです。

物事には必要条件と十分条件があり、京の景観を守るために予算措置を講じられることは望ましいことで必要条件でしょう。でもそれだけでは十分ではありません。それを守るために、街の清掃やマナーといった心の清掃など、そして京都に残る美しい日本の慣習なども磨きをかける運動を推進したいものです。京都に来られた方々から、「貴重な文化遺産は勿論だけど、名実ともに美しい街ね」と感嘆の声をあげさせたいものです。

スタッフ T.A

バナナ好き。
ちょっと小腹が空いた時に
欠かせません

スタッフのつぶやき

木版画を、密かな趣味にしている。だから、「絵になる風景」をいつも探して歩く。旅先はもとより、通勤途上や普段の買い物先ですら、気になったアングルがあると、思わず立ち止まっては時に写真を撮り、構成や色分けはどうしようかと色々考えてしまう。版画の技術は誰に教えられた訳でもないが、昔、まだ小学生

だった時分に父が趣味で彫っていたのを見ていた。多くの色版を重ねようやく一枚の絵が完成する過程が面白くて、いつしか自分も彫るようになった。京都には、絵になる風景がまだまだ多く残されていると思う。これを守り、永く伝えていけるようにすることを切に願っている。

賛助団体

株式会社ゼロ・コーポレーション / ローム株式会社 / 株式会社地域計画建築研究所 / 都市居住推進研究会 / 一般社団法人京都府建築士事務所協会 / 株式会社ジェイアール西日本伊勢丹 / 大阪ガス株式会社 / 株式会社フラットエージェンシー / 京都駅ビル開発株式会社 / NPO法人マンションセンター京都 / NPO法人京滋マンション管理対策協議会 / 平安建材株式会社 / 修徳自治連合会 / 有隣自治連合会 / 株式会社八清 / NPO法人古材文化の会 / 公益社団法人京都市観光協会 / ミサワホーム近畿株式会社 / 一般社団法人相続相談センター / 立命館大学歴史都市防災センター / 六原学区自治連合会 / 一般社団法人京都府不動産コンサルティング協会 / 京町家居住支援者会議 / 松ヶ崎学区自治連合会 / 桂坂学区自治連合会 / 株式会社マープル / 京都市建築協定連絡協議会 / 『京ぐらし』ネットワーク / 株式会社都ハウジング 他